

令和4年度 第1回天王寺区教育会議

**天王寺区の
教育に関する取組について**

校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠) (4年度予算 290万円 (3年度 290万円))

1 目的

分権型教育行政を施策面でも推進するため、平成28年(2016年)度から区長(区担当教育次長)が事業を企画・立案して執行できる「校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)」を設け、学校のニーズを踏まえた施策を各区で実施する

2 実施概要(当区の取組)

学校が掲げる教育目標の中から区が重視する施策分野において、学校連携による取組を行うことのほか、各学校が自校の特色・課題を反映させた取組を実施する(世界に通じる文教『都市』推進事業)

○4年度の取組

➤ 学校連携による人材育成事業【学校連携】

- ・天王寺区小学校体験交流会(5年生)

区内8小学校の5年生児童を対象に、各中学校区別に天王寺動物園にて開催

- ・天王寺区大阪市立中学校合同文化祭(主に文化部活動)[12月3日(土)天王寺区民センター]

区内3中学校の教育・文化活動の発表、作品展示、交流の場とする合同文化祭を開催

➤ 外部指導者等招聘事業(授業・部活動への外部講師の招聘)

- ・プロ奏者による吹奏楽指導(高津中、5・6・8月)

➤ 学校教育環境向上事業(ICT教育の充実、学力・体力向上等環境整備)

- ・理科指導教材の購入(大江小)

➤ 中学校キャリア教育の支援事業(学校への外部講師の招聘)

- ・これまで区役所で実施してきたインターンシップ先やテンサポ(天王寺区サポーター制度)登録事業者より、学校が行う職業講話の講師を派遣(天王寺中、6月)

3 目標・達成状況

- ・目標:学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる教育会議委員 80%以上
- ・実績:未測定(2年度 100%、元年度 80%)

4 当区の考え方

- ・今後も学校ニーズを把握しながら、学校の特色づくりや課題解決に向けた取組を実施し、教育活動を支援していく

こどもサポートネット事業（教育委員会事務局、こども青少年局事業）（4年度予算 820万円（3年度 825万円））

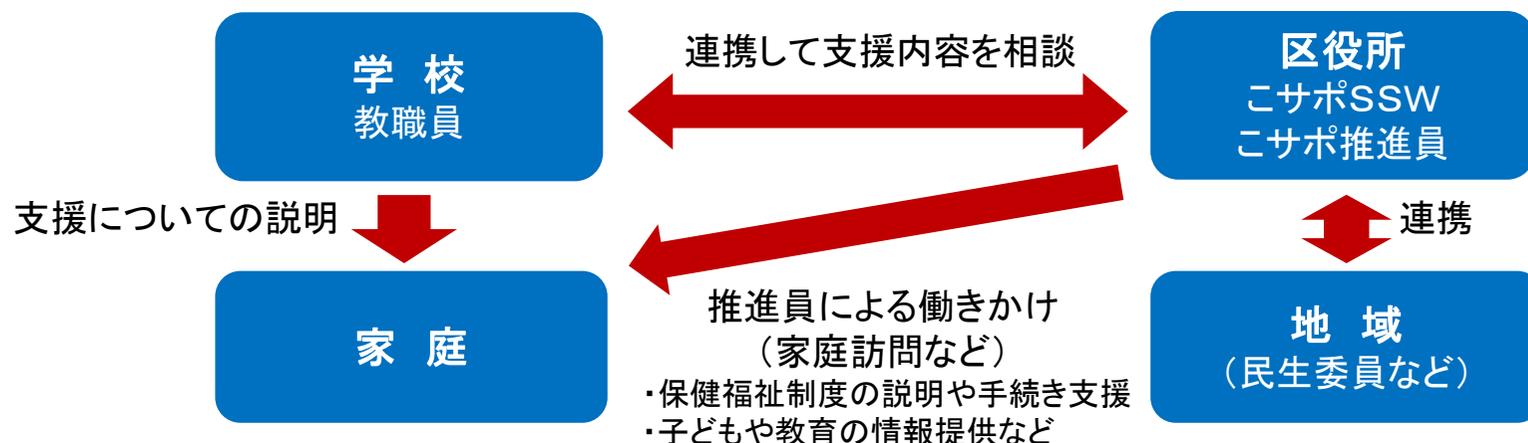
1 目的

課題を抱えた子どもや子育て世帯を小・中学校において発見し、学校と区役所が連携して教育的な支援、保健福祉の支援制度や地域資源等の適切な支援につなぎ、子どもと子育て世帯を社会全体で総合的に支援する

2 実施概要

子どもたちの学校生活の様子を通して、学校とスクールソーシャルワーカー（SSW）や保健福祉分野の支援をよく知る区役所職員（こどもサポート推進員）が連携して話し合い、その児童生徒や世帯が利用できる制度を紹介したり、手続きの手伝いを行う

【こどもサポートネットの流れ】



3 支援実績等 [8月末現在]

・学校と区役所との会議、ケース数 11校7回、16件（3年度 11校25回、32件）

4 学校からの主な意見

- ・学校と区役所との会議実施により、担任がひとりで抱え込むことなく支援を行うことができた。活用できる福祉制度を知ったことで福祉サービスの利用を学校から提案することもできた
- ・こどもサポート推進員の定期的な家庭訪問などを通じて面談してもらえることで、子どもや保護者の安定にもつながり助かっている

5 当区の考え方

こどもサポート推進員による学校訪問を増やすとともに、学校との会議を定期的で開催するよう学校に積極的に働きかけ、地域とも連携しながら、子どもやその世帯が抱える課題・問題の解決に向けた適切な支援へつなげる

スクールカウンセラー事業 (こども青少年局事業) (4年度予算 1,522万円 (3年度 1,188万円))

1 目的

いじめ・不登校等の子どもの問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決

2 実施概要

小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、地域内の幼児から高校生までの本人・保護者等へのカウンセリングを行う

3 スクールカウンセラーについて

業務内容：不登校・いじめ等における心理に係る専門的知識・経験に基づく相談業務

勤務時間：午前10時～午後4時45分(6時間) (年間35週) 相談時間：1回1時間以内

申込方法：中学校保護者・生徒は当該中学校に、他の学校園の保護者・児童は在籍学校園を通じて校下中学校に申込み
(学校園を経由した申込みを希望しない場合は教育相談窓口へ電話することもできる)

4 相談実績等[7月末現在]

相談件数76件、うち解決改善件数(未測定)

3年度	相談件数320件、うち解決改善件数179件[55.9%]
2年度	相談件数227件、うち解決改善件数117件[51.5%]

 [全市目標：45%]

➤ 配置状況：天王寺中(金曜)、天王寺小(金曜)、聖和小(火曜)、大江小(木曜)
夕陽丘中(月曜、木曜)、五条小(火曜)、生魂小(木曜)
高津中(火曜)、桃陽小(金曜)、味原小(火曜)、真田山小(火曜)

※カウンセラーを増員し、3年度からすべての小・中学校に1人ずつ配置(各校週1日配置)
さらに相談状況をふまえ、4年度から夕陽丘中に増配置

5 学校からの主な意見

- ・カウンセリング及び空き時間は教室を回って児童の様子を見てもらっている
- ・保護者にもカウンセリングを受けてもらっている。カウンセリング後の教員への状況報告も丁寧にしてもらっている

6 当区の考え方

学校における活用状況を把握しながら、引き続き実施していく

学校図書館の活用(教育委員会事務局事業) (4年度予算(24区)2億6,291万円(3年度 2億5,734万円))

1 目的

読書活動は、学力・知識の基盤となる言語力の向上に寄与するとともに、学力とも関連するものであり、教員を補助する人材を配置し、開館回数増、読書環境の整備をめざす

2 実施概要

学校図書館補助員を配置し(平成27年10月～)、学校図書館の開館回数の増(週7回開館目標)及び魅力ある学校図書館づくりを行う
令和4年4月～学校図書館補助員にかえて「学校司書」「主幹学校司書」を配置

3 学校司書について

職務内容: 1人あたり2～3校を担当し、学校図書館の開館、貸出業務、環境整備等を行う
(コーディネーター(中央図書館勤務)が適宜学校を巡回)

勤務時間: 学校司書1日6時間(各校週1日)、主幹学校司書(1校専任週4日)

4 当区の状況について

(1) 週当たりの開館回数(始業前、2～3限目で15分以上の休憩、昼休み、放課後のうち開館されている回数)

小学校 6.5回(平成27年7月配置前) → 12.1回(3年度 11.0回、2年度 11.1回)

中学校 5.5回() → 8.0回(3年度 8.0回、2年度 8.7回)

(2) 主幹学校司書・学校司書配置 ※当区は主幹学校司書を桃陽小学校に配置、4名の学校司書が交代で10校に勤務している

主幹学校司書(桃陽小(月～木))

学校司書①(聖和小(木)・真田山小(金)・高津中(火))、学校司書②(生魂小(火)・五条小(月)・味原小(木))、

学校司書③(大江小(火)・天王寺小(木))、学校司書④(夕陽丘中(水)・天王寺中(木))

(3) 活動事例

季節やテーマに合わせた展示の実施、ビブリオバトルの実施、蔵書管理の電算化 など

5 目標・達成状況

・目標: 週当たりの開館回数 各校8回以上(元年度までは各校7回以上)

・実績: 目標達成(11校中)9校(3年度 9校、2年度 8校、元年度 11校)

6 当区の考え方

コーディネーターと連携を深め、主幹学校司書及び学校司書を中心に、児童生徒がより図書に親しめる学校図書館づくりをすすめる



天王寺区「小学校国際理解教室」【対象:小学生】(4年度予算 21万円 (3年度 240万円))

1 目的

将来の国際化の担い手となる小学生に対し、外国人や外国文化を体験した方との外国の遊びや外国語による簡単な会話などの交流を通して、異なる文化・行動様式に対する理解を促進し、国際感覚の涵養を図り、世界に目を向けるきっかけとなることをめざすととも外国語学習への意欲を喚起する。

2 実施概要 (生魂小学校 国際理解事業 企画案)

対 象：生魂小学校3年生 (25人×2クラス)

生魂小学校5年生 (25人×2クラス)

場 所：生魂小学校各学級の教室

日 程：(3年生) 10月17日(月) 13:30～15:05

(5年生) 10月21日(金) 13:30～15:05

3 目標・達成状況

・目標：参加児童へのアンケートにおいて肯定的な回答(満足度)の割合 70%以上

4 当区の考え方

さらに多くの小学校で実施できるよう、今年度の実施状況を各校と共有し、国際理解を深める機会の増加に努める。

天王寺区ジュニアクラブ事業【対象:小学4年生～高校生】(4年度予算 26万円(3年度 26万円))

1 目的

「やさしく思いやりのある青少年の健全育成」とともに「将来の地域活動を担う人材の育成」をめざして、平成19年度より実施

2 実施概要

学校・地域との協働により、地域行事へのボランティア参加や施設見学・体験を行う。(年5回程度)

[4年度の取組] 天王寺の歴史にふれよう!～夕陽丘の坂をめぐる～ 5月29日(日) 参加者 29人

大阪市立美術館を探検しよう!～展覧会ができるまで～ 8月22日(月) 参加者 27人

われら救命ジュニア隊!～いざという時に備えよう～11月3日(木・祝)

天王寺区大阪市立中学校合同文化祭でスタッフをしよう!(仮)12月3日(土)

国際交流をしよう(仮)令和5年2月5日(日)

[4年度会員] 116人(内訳:小学生54人、中学生39人、高校生23人)(4年度新規会員 20人)



3 参加者の主な意見

地域の歴史を知れて良かった/自分の住む町に詳しくなれて良かった/天王寺区のことをもっと知りたい
美術館の知らないところを知れた/美術館の歴史を学べた/(美術品の)修復作業をしてみたいと思った

4 目標・達成状況

・目標:活動の趣旨(ボランティア等)が理解できた 70%以上 ・実績:100%(3年度100%、2年度 97%)

5 当区の考え方

- ・子どもたちが参加したいと思う活動となるよう、子どもたちの意見を聴取する場を設け、今後の活動内容に反映する
- ・学校とも活動状況や子どもたちの参加状況等の情報共有を図り、連携の強化に取り組む

こどもの居場所等における学び・生活サポート事業【対象:小・中学生】(4年度予算 109万円 (3年度 101万円))

1 目的

民間事業者や学校等と連携し、支援を要する子どもの学力向上と精神面の支援につなげるため、「こどもの居場所」での学習支援・生活相談を行うサポーターの活動を支援する

2 実施概要

- ・居場所における「学び・生活サポーター」の派遣 (上限1,008時間 1,000円/時間)
- ・「学び・生活サポーター」は、子どもの学習指導・精神面の支援に知識・経験のある者 (大学生、教員・塾講師等経験者など)

3 区内のこどもの居場所等における参加者数等[8月末現在] (参考) 天王寺区子ども・子育てプラザ (味原町) 【本市施設】

(1) 啓林館Tomorrowサポート教室 (大道4丁目)	第2・4水曜	17:00~20:00	※活動休止中
(2) 寺田町ジオラマこども喫茶 (寺田町2丁目)	月~金曜	18:00~21:00	※活動休止中
(3) おにぎりカフェけんちゃん (清水谷町)	木曜・日曜以外	15:00~18:00	※活動休止中
(4) 学習塾Sien (大道5丁目)	水曜・金曜	16:00~18:00	※支援対象者1名 (延べ3名) 3回開催
(5) 寺子屋Teller (下寺町2丁目)	金曜	15:30~17:50	※学び・生活サポーター派遣なし
(6) あんだんて (小橋町)	日曜	13:00~18:00	※学び・生活サポーター派遣なし
(7) 味原小学校	火~金曜	14:30~15:30	※支援対象者2名 (延べ32名) 32回開催

4 参加者の主な意見

分からないところを教えてくれる/しっかりと自分の意見を聞いてくれた

5 目標・達成状況

- ・目標: サポートを受けて改善した(勉強が分かるようになった等) 70%以上
- ・実績: 勉強が分かるようになった 100%、話を聞いてもらってよかった 100%
(3年度 勉強が分かるようになった 100%、話を聞いてもらってよかった 100%
2年度 勉強が分かるようになった 88%)



【学習塾Sien】



[あんだんて]

6 当区の考え方

民間が設置する居場所の周知を積極的に行うとともに、学校との連携により、子どもの状況に応じた居場所での支援につなげる

民間事業者を活用した中学生学習支援事業【対象:中学生】(4年度予算 4万円(3年度 4万円))

1 目的

- ・中学生の基礎学力の向上・学習習慣の形成を図るため、各区で民間事業者を活用した課外学習を実施
- ・当区は「Z会グループによる天王寺塾」として、天王寺区民センターと天王寺区子ども・子育てプラザを会場に開講

2 実施概要(実施事業者:(株)エデュケーショナルネットワーク(Z会グループ))

対 象:区内在住の中学生

場 所:夕陽丘教室(区民センター) 月・木 18:00~19:10、19:15~20:25

味原教室(子ども・子育てプラザ) 火・金 18:00~19:10、19:15~20:25

回 数:週2回(70分間×2コマ/1日)

授業内容:講師1名対生徒5名以下の少人数指導

受講生ごとの習熟度に合わせた教材を使用

学習計画表をもとに講師と二人三脚で学習

自習スペース・自主学習のための貸出教材あり

受講料:月10,000円(塾代助成カード使用可)

※塾代助成カード:学習塾などで月1万円まで利用できるカード(所得制限あり)

8月現在参加生徒:26人(夕陽丘教室 18人、味原教室 8人)



[授業の様子]

3 参加者の主な意見[7月末現在]

- ・参加して勉強がよく分かるようになった 5人、少し分かるようになった 12人、変わらない 1人、未回答 8人
- ・英語が前より分かるようになった/数学のテストの点が少しずつ上がっているのととても嬉しい
- 間違えたら一緒に解き進めるのですごく頭に入りやすい/分からない問題をしっかり教えてくれるのでとても良い

4 目標・達成状況

- ・目標:参加前より学校の授業がわかるようになった 70%以上
- ・実績[7月末現在]:94%(3年度 86%、2年度 93%)

5 当区の考え方

必要な生徒に受講してもらえよう適宜周知を行う

防災教育の取組

1 各校の防災教育の取組への協力

学校が実施する児童生徒を対象にした防災教育に協力

(取組内容) 防災クイズ、防災マップづくり、紙皿・紙スリッパづくり、備蓄物資の紹介、防災講話（中学生対象） など

○4年度の取組

天王寺小（9月）

生魂小、聖和小（10月）

五条小（11月 校庭キャンプ）

夕陽丘中（11月）

【開催未定】

天王寺中・高津中

大江小・桃陽小

味原小・真田山小



[中学生向け防災学習動画]



[防災学習(夕陽丘中学校)]

※小・中学生向けの動画教材を作成の上、区YouTubeチャンネルに掲載し、コロナ禍における防災教育の充実を図る

2 地域での防災の取組への協力

- ・地域の防災関係行事（子ども向け行事）：聖和防災ふえすた（10月開催予定）
- ・その他、各地域で実施する防災訓練